



名張市学校図書館だより「子ども読書の日編」 発行：教育センター

4月23日は『子ども読書の日』です。

この日は、子どもが読書活動を行う意欲を高めるために、平成13年に制定されました。
 また、4月23日～5月12日（20日間）は『こども読書週間』となっています。
 第56回2014年度のこども読書週間の標語は『いつもいっしょ、本といっしょ。』です。



全国学校図書館協議会と毎日新聞が毎年行っている小中高校生の読書冊数の調査「学校読書調査報告」では、以下のように報告されています。

- 平成25年5月1ヶ月間の平均読書数
 - ・小学生 10.1冊（昨年度10.5冊）0.4冊減
 - ・中学生 4.1冊（昨年度4.2冊）0.1冊減
 - ・高校生 1.7冊（昨年度1.6冊）0.1冊増
- 1ヶ月間全く本を読んでいない割合
 - ・小学生 5.3%（昨年度4.5%）0.8%増
 - ・中学生 16.9%（昨年度16.4%）0.5%増
 - ・高校生 45.0%（昨年度53.2%）8.2%減



平均読書数については、小中は微減、高校生は微増となりましたが、小学生は全体の3割強が1ヶ月に10冊以上読んでいると回答しており、たくさん読む傾向が見られます。中学生は2、3年生の不読率が増えています。高校生は全く本を読んでいない不読率が大きく減りました。これは高校生に人気のシリーズものが映画・アニメ化されたことで、作品への興味や関心が高まったからではないか、と考えられます。



子どもたちは、どんな本を読んでいるか？

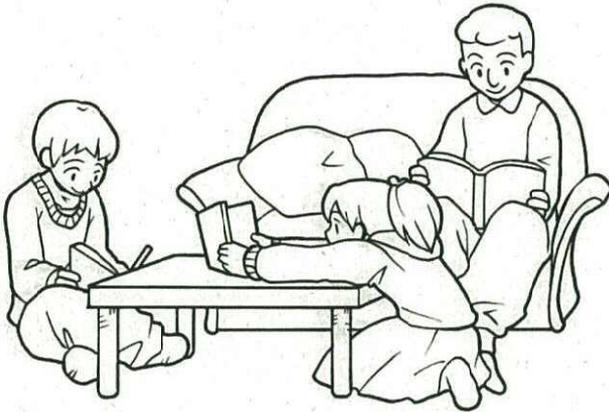
学校読書調査報告では、子どもたちが読んだ本も紹介されていますので、一部を紹介します。

小4	小5	小6	中1	中2	中3
かいけつゾロリシリーズ	日本の歴史	日本の歴史	謎解きはディナーのあとで	カゲロウデイズシリーズ	真夏の方程式
日本の歴史	エジソン	黒魔女さんが通る!!シリーズ	今日、恋をはじめます	プラチナデータ	プラチナデータ
江戸川乱歩シリーズ	一期一会シリーズ	江戸川乱歩シリーズ	図書館戦争シリーズ	図書館戦争シリーズ	図書館戦争シリーズ

学年を問わず、シリーズものが多く読まれています。また、伝記・歴史ものもよく読まれていました。男子では、戦国武将や歴史上の人物、スポーツ選手（徳川家康・織田信長・豊臣秀吉・坂本龍馬・聖徳太子・松井秀喜など）が人気ですが、女子はヘレン・ケラー、ナイチンゲール、キュリー夫人、マザー・テレサ、エジソン、野口英世などの、一般的に偉人と言われている人物が取り上げられています。

家読(うちどく)のススメ

「うちどく」とは、「家庭読書」の略語で、学校での「朝読」の家庭版として考えられたものです。読書を通じて子どもとふれあうことで、共通の時間・共通の話題作りのきっかけにもなります。



①家族で話し合い、「うちどくの日」を決める。

家族の記念日や毎月1日など、決まった日を設けます。定期的でなくても構いません。

②家読用の本を用意する。

学校の図書室で借りたり、市立図書館と一緒に借りに行ってみましょう。

③「うちどくの日」はノーテレビ・ノーゲーム。

本を読む時は、静かに本に集中することが大事です。光や音の刺激は極力避けましょう。

必ずこのようにする、という訳ではありませんので、ご家庭に合った方法で無理なく行って下さい。おうちの方が、昔読んだ本を紹介したり、感想を聞かせたりするのもおすすめです。

読書は読解力を上げるので、子どもだけではなく、大人にとっても非常に大切なことです。しかし、忙しい日常の中で、普段はなかなかゆっくり本を読むことも難しいかもしれません。そこで、「うちどくの日」を決め、子どもと一緒に読書をしてみてはいかがでしょうか。子どもたちは最初は興味がないかもしれませんが、他人が楽しそうにしていると次第に興味を示してきます。「何読んでるの?」と聞いて来ればラッキーです。一緒に読書を楽しんでみましょう。

子ども時代に読んだ本は、その子の人生に影響を与えます。

なるべく良質な本を保護者の方が選んであげてください。

本は知識です。そして人間は知識に基づいて行動します。食べ物体が作るように、知識はその人の行動に影響を与えます。子どもが好きな本は食べ物でいえばおやつのような、文字の少ないパッと見てわかる本が多いのが現状です。しかし、当然ながらおやつだけでは丈夫な体は作れないので、ご飯やおかずに相当する本(広く読まれている名作、知識を豊かにする本、課題図書等幅広いジャンルから)を保護者の方からさりげなく薦めてあげてください。



ぜひ家庭で読書を楽しみましょう！



名張市学校図書館だより 小学校版 平成二十六年初夏号 発行：教育センター

今回のおしらせ
五・六月の本紹介
本の分類について

あたらしい 支援員が来ます。

四月から、今年の図書支援員が図書室に行っています。支援員は、みんなが図書室を楽しく便利に使うてもらえるように、図書の整理や修理、読み聞かせや、バーコード貸出・調べ学習・図書委員会のお手伝いなどをしています。

「あの本をかりたいけど、どこにあるかわからない」「調べ学習で●の本を使いたい」「低学年の本を読んであげたいけれど、おすすめは？」「お昼の放送で使える本をかりたい」など、なんでも支援員に相談してくださいね。



5月・6月の記念日を紹介します。

だんだんと夏のように暑くなってきましたね。五月と六月の変わった記念日を紹介します。

- 五月
 - 九日：アイスクリームの日
 - 二十五日：広辞苑記念日
 - 三十日：掃除機の日
- 六月
 - 一日：カレー記念日
 - 十六日：和菓子の日
 - 二十四日：UFO記念日

広辞苑とは、岩波書店の国語辞典です。とても多くの言葉がのっており、他の国語辞典よりも分厚いのが特徴です。最新版では、『イケメン』『メル友』『リッシュ袋』などの言葉が、新しくのっています。辞典は調べるだけでなく、読み物としてもおすすめです。他の辞典と読み比べてみて、もおもしろいんですよ。

『王さまのアイスクリーム』著：フランセス・ステリット 発行：大日本図書(分類：933ス・おおきな字の本)
まだ、アイスクリームがなかったころのおはなしです。王さまは、3時のおやつにクリームを食べることにしていました。あつい日には、なるべくつめたくなしたクリームを食べたい王さま。すこしでもクリームがぬると、きげんがわるくなってしまいます。でも、とてもあつい日に、井戸の水までぬるくなってしまいました。これではクリームをつめたくすることができません。さて、いったいどうすればいいのか…?

『そうじのひみつ』著：鳥飼規世 発行：学研パブリッシング(分類：597ソ・ひみつシリーズ)
そうじは得意ですか？そうじが苦手な人は、そうじのやり方がわからないからではありませんか？これを読んで、そうじのやり方と道具の使い方を、あらためておぼえましょう。

『和菓子の絵本』著：平野恵理子 発行：あすなろ書房(分類：596・絵本)
見るだけで楽しい和菓子の絵本です。和菓子があまり好きでない人も、これを読んだら和菓子を食べたくなることうけあい！レシピも書いてあるので、ぜひ自分で作ってみましょう。

ほん しゅるい ぶんるい 本の種類 (分類) について

図書室の本は、本の種類によって分けられています。その分け方を『分類』といって、0から9まであります。本の背表紙の一番下に、『分類シール』をはってあります。

ほん ぶんるい 本の分類 (分類ごとにシールの色がちがいます)

- 0 (黒) しらべる本 (百科事典など)
- 1 (紺) 道徳・宗教・こころ
- 2 (だいたい) 歴史・地理・偉人伝
- 3 (青) 社会・福祉・昔話・仕事
- 4 (茶) 理科・算数・いきもの
- 5 (黄) 家庭科・工業・料理
- 6 (灰) 産業・ペット・交通
- 7 (緑) 芸術・工作・音楽・スポーツ
- 8 (紫) ことば・作文・英語
- 9 (赤) おはなし・詩・俳句・短歌

絵本は分類シールのかわりに、ちがうシールをはっています。(学校によって色や形がちがいますが、丸や四角のシールです。)

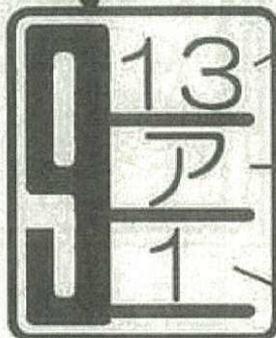


これが分類シールです。

—小学校でよく使う分類—

289 (伝記) 366 (輸業) 486 (昆虫)
489 (ほ乳類) 596 (料理) 726 (漫画)
811 (日本語) 913 (日本のおはなし)

ぶんるい よ 分類シールはこう読む!



細かい分類: 913 なら日本のおはなし、933 ならアメリカ・イギリスのおはなし

書いた人の名前の最初1文字: あさのあつこ なら「ア」、アガサ・クリスティなら「ク」

巻数: バッテリーの3巻なら「3」

※くわしいことは、図書室にはってある「日本十進分類法」のポスターを見てください。分類がわかれば、読みたい本がすぐに探せます。



本は、この分類シールをもとに本棚へ並べています。本を返す時は、分類をよく見て、正しい場所にもどしましょう。そうすれば、次に借りるときもすぐに探せて便利です。(ソロリなど人気のシリーズものは、別の場所にまとめていることがあるので、正しい場所を確認しましょう。)

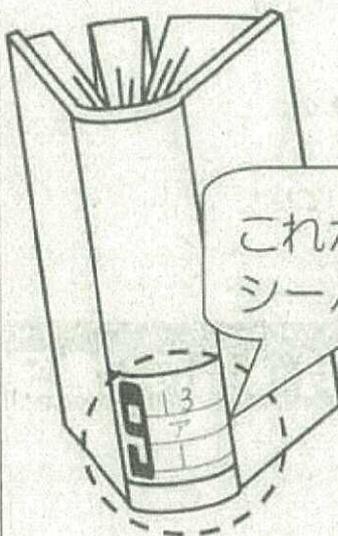
本の種類（分類）について

図書室の本は、本の種類によって分けられています。その分類を『分類』といって、0から9まであります。本の背表紙の一番下に、『分類シール』をはってあります。

本の分類（分類ごとにシールの色がちがいます）

- 0（黒）全般・総記（百科事典など）
- 1（紺）道徳・宗教・哲学
- 2（だいたい）歴史・地理・偉人伝
- 3（青）社会・福祉・昔話・仕事
- 4（茶）理科・算数・生物
- 5（黄）家庭科・工業・料理
- 6（灰）産業・ペット・交通
- 7（緑）芸術・工作・音楽・スポーツ
- 8（紫）言語・作文・英語
- 9（赤）文学・詩・俳句・短歌
- E（茶）絵本

分類は3ケタで表しますが、よく使う分類は、
 031（百科事典）289（偉人伝）366（職業）
 486（昆虫）489（ほ乳類）519（環境）
 726（漫画）811（日本語）911（日本の詩）
 913（日本文学）933（英米文学）などです。

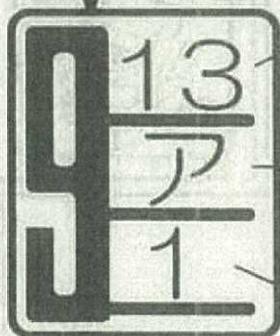


ぶんるい
 これが分類
 シールです。

—その他の中学校で使う分類—

- 159（人生訓）210（歴史）369（福祉）
- 410（数学）443（星座）596（料理）
- 763（楽器）783（球技）818（方言）
- 916（ノンフィクション）

分類シールはこう読む！



細かい分類：913なら日本文学、933なら
 アメリカ・イギリス文学

書いた人の名字の最初1文字：あさのあつこ
 なら「ア」、アガサ・クリスティなら「ク」

巻数：バッテリーの3巻なら「3」

詳しいことは、図書室
 にはってある「日本十進
 分類法」のポスターを見
 てみましょう。

分類がわかれば、読み
 たい本がすぐに探せま
 すよ！



本は、この分類シールをもとに本棚へ配置しています。本を返す時は、分類をよく見て、正しい場所に戻しましょう。そうすれば、次に借りるときもすぐに探せて便利です。（人気のシリーズものや文庫などは、別の場所にまとめていることがあるので、正しい場所を確認しましょう。）

「ザリガニのかいかた・そだてかた」か…「川原の石ころ図鑑」か…「少年探偵」も読みたい…まようけど楽しみだなあ…。

本の世界は
よどみどみ



いよいよ夏休み!
いよいよ夏休みですね。長期の休みは本をたくさん読むチャンスです！江戸川乱歩など、シリーズものにもチャレンジしてみてもいいですね。市立図書館は静かでクーラーもきいてるので、集中して読書や宿題ができますよ。時間があるときは少しでも本を読むことで、夏休みモードの頭をシャキッとさせましょう！



ことし かいとうしよ しょうかい
今年の課題図書を紹介します。



1ねんせい・2ねんせい

「まよなかのたんじょうかい」 さく：にしもと けいすけ え：わたなべ ゆういち
はっこう：すずきしゅっぱん(ぶんるい：えほん)
きょうは、さきちゃんのたんじょうびです。でも、おかあさんがかえってきません…。

「どこかいきのバス」 さく：いのうえ ようこ え：くすはら じゅんこ
はっこう：ぶんけんしゅっぱん(ぶんるい：913イ)
だいにしていたセミのぬけがらを、おかあさんがすててしまった！いえでしてやる！

「ミルクごぼしちゃだめよ！」 さく：ステューヴン・デイヴィズ え：クリスティー・コー
はっこう：ほるぶしゅっぱん(ぶんるい：えほん)
アフリカのおはなし。さきゅうには、しろいキリンやようせいがいる！？

「ひまわり」 さく・え：あらいまき
はっこう：きんのほししゃ(ぶんるい：479ア)
ひまわりは、ちいさなたねから、どうやってあんなにおおくなるのでしょうか？

3年生・4年生

「ともだちは、サティー！」 作：天塚篤子 絵：タムラフキコ
発行：小峰書店(分類：913オ)
夏休み、おとうさんとネパールに来たツトム。牛乳が苦手な人は共感できるかも？

「ただいま！マラング村：タンザニアの男の子のお話」
作：ハンナ・ショット 絵：斎藤木綿子 発行：徳間書店(分類：943シ)
お金も、すむ家もない4歳のツツ。いったいどうやってくらしていたのでしょうか？

「ちきゅうがウンチだらけにならないわけ」 作：松岡 たつひで
発行：福音館書店(分類：468マ)
ウンチをまじめに考えるとこうなる！実はウンチはとっても役に立っているのです。

「よかたい先生：水俣から世界を見続けた医師-原田正純-」
作・絵：三枝三七子 発行：学研教育出版(分類：916ミ)
「あたりまえ」をうたがえ！公害問題は「あたりまえ」と戦ってきたのです。



名張市学校図書館だより 小学校版 平成二十六年夏休み直前号 発行：教育センター

● 今回のおしらせ
● 課題図書の紹介
● 読書感想文について

さあ、どの本を読もうかなあ！



5年生・6年生

「ふたり」 作：福田隆浩 発行：講談社(分類913フ)

偶然同じミステリー作家が好きだとわかった准一と小野さん。いつも土曜日に図書館で待ち合わせて…。

「マッチ箱日記」 作：ポール・フライシュマン 絵：バグラム・イバトゥーリン

発行：BL出版(分類:絵本)

おじいちゃんは字が書けなかったので、日記のかわりに、マッチ箱へその日の思い出を入れていました。

「時をつなくおもちゃの犬」 作：マイケル・モーバーゴ 発行：あかね書房(分類:絵本)

サッカー、戦争、捕虜。お母さんが大切にしているおもちゃの犬「リトル・マンプレート」にはこんな話が…。

「カフトムシ山に帰る」 作：山口進 発行：汐文社(分類:486ヤ)

昔のカフトムシは大きかったのに、最近は小さくなってきている…と思ったら実はそうではなかった!?

どくしょかんそうぶん か 読書感想文を書いてみましょう



読書感想文は、読書をより深めるために書きます。書くことによって、より深く考えたり、自分の考えを整理したりすることができます。

一冊の本と真剣に向き合い自分を静かに見つめることで、新しい自分と出会えるかもしれません。さあ、さっそく読んでみましょう!

こんなことを書いてみては?

- この本を読んで、何を考えさせられたの?
- 自分と似ているところはどこ? 違うところはどこ?
- 自分のどこが変わろうとしているの?
- もっと考えてみたい問題は何?
- これからの毎日で生かしていこうとしていることは何?
など、自分の意見をまとめてみましょう。



図書支援員 藤田の へんしゅうこうき 編集後記

読書感想文の簡単な書き方は、去年のとしよだより6月号ののっています。教育センターのホームページから、一番下の「平成25年度HP」→図書だより→6月にありますので、参考にしてください。

また、県内の児童の読書感想文を集めた「わたしはこう読む」という本が図書室にあります。他の人がどんな感想文を書いているのか読んでみたい人は、支援員にも聞いてみてくださいね。みなさんが楽しく読書をして、楽しく感想文を書いてくれるとうれしいです。



夏休みがやって来ます!

いよいよ夏休みですね。長期の休みは本をたくさん読むチャンスです! 江戸川乱歩など、シリーズものに挑戦してみるのもいいですね。市立図書館は静かでクラーも効いているので、集中して読書や宿題ができますよ。時間があるときは少しでも本を読むことで、夏休みモードの頭をシャキッとさせましょう!



夏の本といえば「夏の庭」や「西の魔女が死んだ」が夏を感じられていいかも。

今年の課題図書を紹介します。

今年の課題図書は次の三冊です。

『語りつぐ者』

『星空ロック』

『ホタルの光は、なぞだらけ』

となつています。『語りつぐ者』はアメリカ独立戦争が出てきます。独立戦争は有名な「ボストン茶会事件」や、フランス革命の遠因となるなど、世界の歴史に残る出来事が数々起きているので、調べてみると面白いと思います。『星空ロック』は冒険好きにおすすめ。一四歳のドイツ人旅、「ひとつの楽器、ひとつの外国語、ひとつのスポーツ」を知れば人生は楽しくなるという格言がありますが、音楽とはいもものだと、改めて思われます。『ホタルの光は、なぞだらけ』は、読書が苦手な人におすすめ。科学の面白いところ、科学「者」の面白いところがたくさん書かれています。三冊とも面白いので、ぜひ読んでみてくださいね。

今回のおしらせ

● 課題図書紹介

● 読書感想文について



『語りつぐ者』 著:パトリア・ライリー・ギフ 発行:さ・え・ら書房(分類:933ギ)



語りつぐ者

父の都合で顔も知らない叔母の家に預けられたエリザベス。ところがその家で、自分そっくりの少女の肖像画を見つけます。少女の名はズイー。独立戦争時に生きていたエリザベスの先祖でした。どうしてもズイーのことが気になるエリザベス。彼女のことを調べていくこととなります…。独立戦争時の歴史を調べると、時代背景がわかるので、もっと面白く読めますよ。

『星空ロック』 著:那須田淳 発行:あすなる書房(分類:913ナ)



人種差別や戦争、移民問題などの中に、友情・家族・恋愛なども盛り込まれています。家族と合流するまでの4日間の出来事が、とてもスピーディに書かれていて、スラスラ読めます。

『ホタルの光はなぞだらけ:光る生き物をめぐる身近な大冒険』 著:大場裕一 発行:くもん出版(分類:486オ)



光る生物は意外と身近にいるものです。ほら、あなたの足元にも。でも、なぜ光るのかは結局のところわかっていません。科学者はそこが面白くて研究しています。科学の楽しさを教えてください。

読書感想文を書いてみましょう



読書感想文は、読書をより深めるために書きます。書くことによって、より深く考えたり、自分の考えを整理したりすることができます。

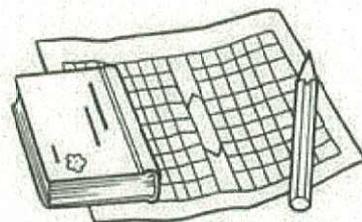
また、感想文を他の人が読むことにより、心の交流が生まれます。

この夏、一冊の本と真剣に向き合い、自分を静かに見つめることで新しい自分と出会ってみませんか？

読書感想文って？

読書感想文は、「意見に始まって意見に終わる」と言われています。今の「自分」を文章で表現してみましょう。

また、読書感想文を書くことは、読書を通して自分を振り返り、これからどうしていこうとしているのかなど、自分を見つめる作業です。文章を書くことで、自分を静かに見つめ、新しい自分を創造していくことができます。



書き終わったら、推敲しよう。

- ・誤字脱字はない？
- ・ひとりよがりの文章はない？
- ・変な表現はない？



さあ、書いてみましょう！ たとえぼこんなことも…

- …この作品で得たことは何？ 何を考えさせられたの？
- …自分との共通点は？ 相違点は？
- …自分のどこが揺さぶられ、どこが変わろうとしているの？
- …もっと考えてみたい問題は何？
- …今後の日常生活で生かしていこうとしていることは何？
- …今後の日常生活の中で、心がけようとしていることは何？

文章がどうしても前に進まなくなって困ったら、次のキー・ワードを使ってみてください。ひよっとしたら、ふと、いい話題が浮かんでくるかも？

- ・作者は ・たとえぼ ・主人公は ・ひよっとしたら
- ・別の見方をすれば ・きっと ・たぶん ・わたしだったら

図書支援員 阪田の

編集後記

読書感想文の簡単な書き方は、去年のとしよだより6月号にのっています。教育センターのホームページから、一番下の「平成25年度HP」→図書だより→6月にありますので、参考にしてください。

また、県内の児童の読書感想文を集めた「わたしはこう読む」という本が図書室にあります。他の人がどんな感想文を書いているのか読んでみたい人は、図書支援員にも聞いてみてくださいね。みなさんが楽しく読書をして、楽しく感想文を書いてくれるとうれしいです。

あき どくしょしゅうかん
10/27~11/9 は秋の読書週間です!

今年の標語は「めくる めぐる 本の世界」です。

本の世界はとてもすばらしいものです。なぜかという
 と、現実ではなかなかできないことができるからです。

「ニルスのふしぎな旅」を読めば、ガチョウのモルテン
 といっしょに空を飛べ、「棕鳩十まるごと動物ものが
 たり」を読めば、大きなシカや月の輪グマが目の前にい
 るような気がします。のら猫のコマ子のおはなしでは、猫
 をかっけていなくても、一緒にいる気分になれます。

本の世界なら、どこにだって行けるし、なんにだって
 なれます! さっそく図書室や、やまなみ号で本をかりて
 きて、たのしい本の世界へ行ってみましょう。



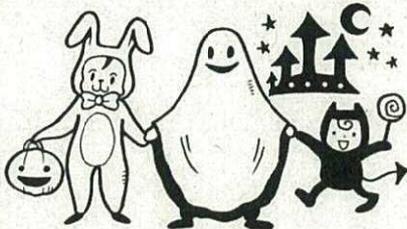
名張市学校図書館だより 小学校版

平成二十六年秋の読書週間号

発行：教育センター



あき ほん
秋がテーマの本をしょうかいします。

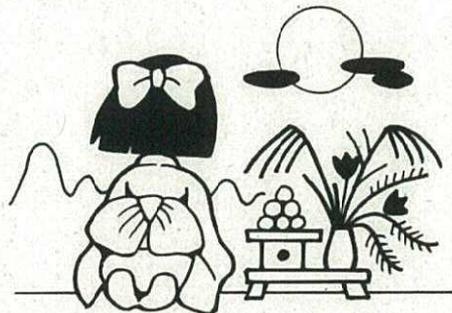


Trick or treat!

秋といえば、10月にハロウィンがありますが、実は日本にも同じような行事があります。それは、9月の「お月見どろぼう」です。

これは、お月見のおそなえのおかしを、『お月見ください。』『お団子どろぼうです。』と※

※いって、近所の子どもたちが勝手に持
 っていく、というものです。今ではごく
 少ない地域にしかのこっていないそう
 ですが、四日市市では、スーパーに「お
 月見どろぼうコーナー」ができるくらい
 人気の行事だそうです。



今回のおしらせ
 ●秋の本紹介
 ●読書の秋とは?



【月がくれたきんか】

作：ルッサルト セーラー出版
 外国版「はなさかじいさん」の
 ようなおはなしです。金貨で
 白馬を賣うのですが、この白馬
 が走る場面は、まるで本の中か
 らとびだしてきそうないきおい
 があります。

【かぼちゃ人類学入門】

作：川原田 徹 福音館書店
 一度は死にそうになったけれ
 ど、あることでよみがえったか
 ぼちゃ島。かぼちゃ人たちのた
 のしいくらしが読めます。かぼ
 ちゃ島はせまいけれど、いちば
 ん広いのは心の中なのです。

【星座と神話 秋の星空】

作：山主 敏子 ポプラ社
 神話というのは不思議な話
 が多いものです。その中に、ゼ
 ウスがある国の王子を誘拐し、
 かわりに馬をあげるというお
 話ののっています。なぜ馬をあ
 げたのか気になりますね。



でも…とくしょ あき なぜ「読書の秋」っていうの?

もともとは故事成語!

故事成語とは、昔のできごとからできたことばです。読書の秋は、中国の韓愈という人の『燈火親しむべし』ということばから来ています。(三省堂[大辞林]より) これは、『秋の夜は明かりの下で本を読むのにふさわしい』という意味です。夏のきびしい暑さもおわり、夜も涼しくて過ごしやすくなってきたので、本を読むのにちょうどいい、といったところでしょうか。



パソコンなんてなかった平安時代…
本はすべて手書き!



手書きは
すごく大変
だから、本が
貴重だった
のよ。

源氏物語や枕草子は一文字一文字手書きされていました。

読書はとても大切!

昔の人にとって「読書」は生活に欠かせないものでした。テレビやインターネットがない時代、なにか知りたいたいと思ったら「本」しかなかったからです。しかも、印刷機械がない時代、本は作るのにもすごく手間がかかっていました。本は高価で貴重なものだったのです。

今は機械や本屋さんのおかげで、読みたい本が安くてすぐ手に入るようになりました。図書館に行けば借りることもできます。とても便利な時代になりました。

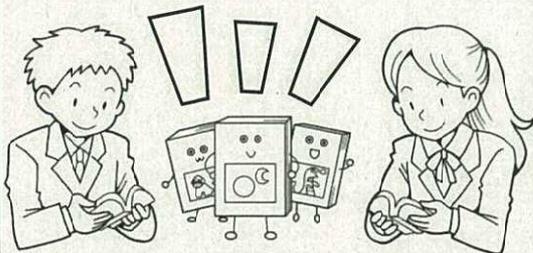
とにかく本を手にとってみよう!

たしかに、ふだんあまり本を読んでいないと、いざ「読書しよう!」と思ってもなかなか読む気にならないものです。まずは、絵本や大きな字の本、自分が興味をもっている本など、すぐ読み終われる本から読んでみましょう。何冊か読んでみて、ものたりなくなってきたら図書館の他のお話を読んでみましょう。きっと、前より読むことが楽しくなっているはずですよ!

いつもあまり本を読まない人も「読書の秋」をきっかけに、なにか1冊、読んでみましょう。

●文庫を読んでみましょう!●

文庫は小さくて読みやすく、種類もたくさんあります!あなたのお気に入りの1冊を見つけましょう!



図書支援員 酸宙の

へんしゅうこうき 編集後記

毎回毎回「本を読もう!」と書いているのは、やっぱり読書が楽しいからです。みなさんにも読書の楽しさを知ってほしいのです。自分で本を読むよりも、だれかに読み聞かせをしてもらう方が好きな人もいるかもしれません。どんな方法でもいいので、とにかくまずは本を読んでみてください。そして読むことの楽しさを感じてください。きっと、あなたの生活の中で役に立つことがたくさん見つかるはずですよ。

10/27~11/9 は秋の読書週間です！

今年の標語は「めぐる めぐる 本の世界」です。

本の世界はとてもすばらしいものです。なぜかという
と、現実ではなかなかできないことができるからです。

「赤毛のアン」を読めば、プリンスエドワード島の美
しい自然に囲まれた家でお茶会をし、「カラフル」を読め
ば、まったく別の人生を歩むことができ、「日本人の知ら
ない日本語」を読めば、外国から見た日本のおもしろい
姿を見ることができます。

本の世界なら、どこにだって行けるし、何にだってな
れます！さっそく図書室や、やまなみ号で本を借りてき
て、楽しい本の世界へ行ってみましょう。



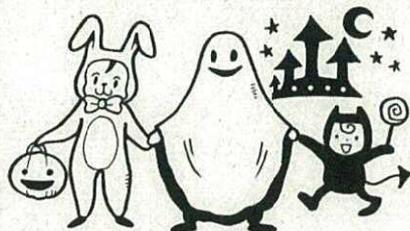
名張市学校図書館だより 中学校版

平成二十六年秋の読書週間号

発行：教育センター



秋がテーマの本を紹介します。

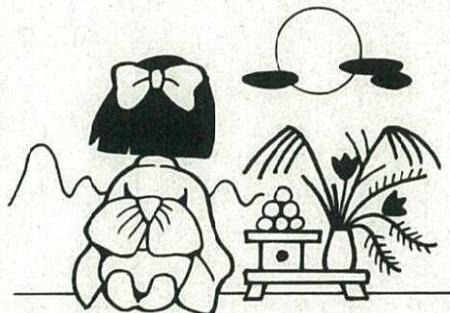


Trick or treat!

秋といえば、10月にハロウィンがありますが、実は日本にも同じような行事がありま
す。それは、9月の「お月見どろぼう」です。

これは、お月見のお供えのお菓子を、『お月
見ください。』『お団子どろぼうです。』と※

※言って、近所の子どもたちが勝手に持
って行く、というものです。今ではごく
少ない地域にしかのこっていないそう
ですが、四日市市では、スーパーに「お
月見どろぼうコーナー」ができるくらい
人気の行事だそうです。



今回のおしらせ
●秋の本紹介
●読書の秋とは？



【雨月物語】

作：上田 秋成

9つの話で出来た短編集で、
いろいろな出版社から漫画や要
約版などが出ています。芥川龍
之介や三島由紀夫も参考にした
といわれ、三島由紀夫は特に「白
峯」と「夢兎の鯉魚」がお気に
入りだったそうです。

【めぐろのさんま】

作：川端 誠 クレヨンハウス

目を引く表紙でおなじみの落
語絵本です。これを読むと、な
ぜか焼いたさんまを猛烈に食べ
たくなります！ジュージュー焼
けてしたたり落ちる脂…かぼす
と大根おろしが欲しくなりま
す。

【星座の

神話がわかる本】

作：藤井 旭 誠文堂新光社

神話というのは不思議な話が
多いものです。星座の話はギリ
シャ神話が元になっていますが、「なんでそうなるの!？」と
言いたくなるような不思議な話
がもりだくさんです。

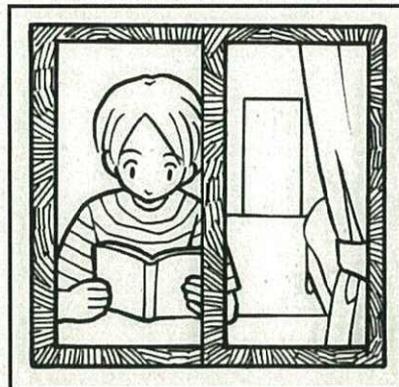


でも…

なぜ「読書の秋」っていうの？

もともとは故事成語！

故事成語とは、昔の出来事からできた言葉です。読書の秋は、中国の韓愈という人の『燈火親しむべし』という言葉から来ています。(三省堂[大辞林]より)これは、『秋の夜は明かりの下で本を読むのにふさわしい』という意味です。夏の厳しい暑さも終わり、夜も涼しくて過ごしやすくなってきたので、本を読むのにちょうどいい、といったところでしょうか。



パソコンなんてなかった平安時代
…本はすべて手書き！



手書きは
すごく大変
だから、本が
貴重だった
のよ。

源氏物語や枕草子は一文字一文字
手書きされていました。

読書はとても大切！

昔の人にとって「読書」は生活に欠かせないものでした。テレビやインターネットがない時代、なにか知りたと思ったら「本」しかなかったからです。しかも、印刷機械がない時代、本は作るのものすごく手間がかかっていました。本は高価で貴重なものだったのです。

今は機械や本屋さんのおかげで、読みたい本が、安くてすぐ手に入るようになりました。図書館に行けば借りることもできます。とても便利な時代になりました。

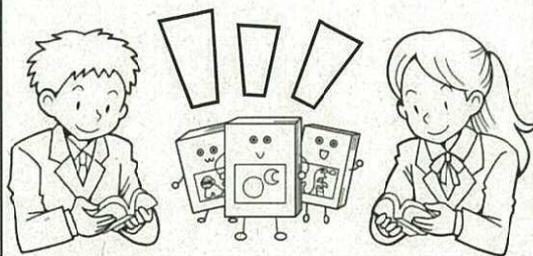
とにかく本を手にとってみよう！

たしかに、ふだんあまり本を読んでいないと、いざ「読書しよう！」と思ってもなかなか読む気にならないものです。まずは、絵本やページが少ない本、自分が興味をもっている本など、すぐ読み終われる本から読んでみましょう。何冊か読んでみて、ものたりなくなってきたら、次は図書室の他のお話を読んでみましょう。きっと、前より読むことが楽しくなっているはずです！

いつもあまり本を読まない人も「読書の秋」をきっかけに、何か1冊、読んでみましょう。

●文庫を読んでみましょう！●

文庫は小さくて読みやすく、種類もたくさんあります！お気に入りの1冊を見つけましょう！



図書支援員
阪田の
編集後記

毎回毎回「本を読もう！」と書いているのは、やっぱり読書が楽しいからです。みなさんにも読書の楽しさを知ってほしいのです。読むのが苦手な人は、詩や短歌、古文などを一文字ずつ指さしながら読んでみましょう。読みまちがいが少なくなるので、とても読みやすくなります。どんな方法でもいいので、とにかくまずは読んでみてください。そして読むことの楽しさを感じてください。きっとあなたの生活の中で役に立つことがたくさん見つかるはずです。

名張り学校図書館だより 小学校版

平成二十六年冬休み直前号

発行：教育センター



寒い日は本を読もう！

すっかり寒くなってきました。寒い日は、あたたかい部屋でお気に入りの本を読みましょう。こたつに入って、みかんがあつて、熱いお茶があれば、いっしょにですね！冬休みももうすぐです。年末は忙しいので、時間を作って読書を楽しみましょう。



早く帰ってこたつで本を読もう...



ゆくゆく♪

冬がテーマの本をしょうかいします。

寒い日にピッタリの本



みなさんは、冬といえば、なにを思い浮かべますか？まずはクリスマスやお正月、そして雪や氷。動物だったら冬眠がありますし、スポーツだったらスケートやスキーがありますね。辞書で「冬」や「寒い」をひいてみるのもおもしろいですし、百科事典で寒い土地のくらしを調べるのもおもしろいかも？そんな冬の本を紹介しします。

【かさじぞう】

絵：赤羽 未吉 発行：福音館書店

かさじぞうはいろいろな絵本がありますが、この絵本は「雪」の絵がすごいのです。絵を描いた赤羽さんは、なんどもなんども雪の中へでかけ、何千枚もの写真をとって、長い時間をかけて、ていねいに描かれたそうです。

【科学のアルバム 雪の一生】

作：片平 孝 発行：あかね書房

雪の結晶というと、想像するのはこんな形ですよね。ところが、このほかにもいろいろな形があるのです！どうして形が変わるのでしょうか？ふしぎな雪のひみつです。



【かぎばあさんのサンタクロース】

作：手島 悠介 発行：岩崎書店

おなじみかぎばあさんシリーズ。おとなりの創ちゃんがクリスマスに退院してきました。信は、サンタさんをよんであげたいと思い、おじさんに相談しますが…。どんなピンチになっても、ニコニコえがおのかぎばあさんがあらわれれば、たちまち解決してしまいます。

【長い冬休み（上）（下）】

作：アーサー・ランサム 発行：岩波書店

冬休みに北極探検！おたふくかぜにかかったナンシの挿絵、顔は描かれていません。なぜかというと、ふくれた顔がきのどくで描けないのだそうです！イギリスのお話なので、日本の文化と違うところがおもしろいです。あちらは真冬になると湖が凍るので、スケートができるんですね。

今回のおしらせ
●冬の本紹介
●たいせつな「よみ」の力



ちから たいせつな「よみ」の力！

むかしから「よみ かき そろばん」がだいじといわれていますが…



本をたくさん読むと…

「よみ かき そろばん」ってなに？

「よみ かき そろばん」とは、昔から「勉強のいちばんもとなること」と言われてきました。「よみ」はもちろん文字や文を「読むこと」。「かき」は文字を「書くこと」。「そろばん」は計算することです。昔から、「勉強にはこの3つが大事」と言われてきました。その中でも「よみ」は全てのもととなります。

だいじ 大事な「よみ」の力！

「読む」ということはただ文字や文を読むことだけでなく、「意味が分かる」ということでもあります。それだけでなく「ものごとを正しく理解する」「相手の伝えたいことがわかる」ということも「よみ」の力がもたせています。

豊かな人間関係をつくるためにも、「よみ」の力は大事なのです。

また、本を読むことでかたんに別の世界をのぞくことができます。ページを開ければどこへでも行ける「どこでもドア」であり「タイムマシン」であり、他の人の心のをのける「まど」であり、それによって自分の心の中を知る「鏡」にもなります。「よみ」の力ってすごいですね！！

「よみ」の力をつけるには、「読む」しかない！

「よみ」の力をつけるには、とにかく文字を読むこと！

本や新聞を毎日読めば、かならず「よみ」の力がつきます。

朝読の時間、業間、お昼休み、ばんごはんの前、寝る前など、ちょっとしたすきまの時間に、本を読むことに挑戦してみませんか。1日5回、5分ずつ読めば、1日で25分になります。これを毎日続けければ、1年で152時間になるんです！

これって、すごいことだと思いませんか？

継続は力なり。今日から、ちょっと時間があったら、読書をしてみましょう。1年後が楽しみです。



問題や、説明の意味が分かる！



相手の気持ちも分かる！



困った時 アイテアが出てくる！

読書で「よみ」の力をつけよう！

図書支援員
藤田の
へんしゅうこうき
編集後記

やっぱり、読書が苦手な人はいると思います。それは、「書いてあることの意味が分からない」からではないでしょうか？何が書いてあるのか、意味が分からないと楽しくないですもんね。ということは、「書いてあることの意味が分かる」ようになれば、読書がすごく楽しくなる、ということです。もし、あなたのまわりに読書の苦手な友だちがいれば、ぜひ『本を読もうよ！楽しいよ！』と、さそってみてください。そして、あなたのおすすめの本を教えてください。

※としよだよりの感想をお聞かせください。E-mail:kyouiku@nabari-mie.ed.jp まで。E-mail は件名に「としよだより感想」と書いてください。



寒い日は本を読もう！

すっかり寒くなってきました。寒い日は、あたたかい部屋でお気に入りの本を読みましょう。こたつに入って、みかんがあつて、熱いお茶があれば、言いつくしなすね！冬休みももうすぐです。年末は忙しいので、時間を作って読書を楽しみましょう。



冬がテーマの本を紹介します。

寒い日にピッタリの本



みなさんは、冬といえば、なにを思いうかべますか？まずはクリスマスやお正月、そして雪や氷。動物だったら冬眠がありますし、スポーツだったらスケートやスキーがありますね。辞書で「冬の季語」や「夏炉冬扇」「冬瓜」をひいてみるのもおもしろいですし、百科事典で冬の星座について調べるのもおもしろいかも？そんな冬の本を紹介します。

【若草物語】

作：オルコット 発行：岩波書店他
「プレゼントのないクリスマスなんて…」という四姉妹のつづやきから、始まる、南北戦争時代のアメリカのお話です。赤毛のアン同様、大人になる前に読んでほしい本。大人になってからはもったいないです。

【し・ミゼラブル】

作：ユーゴー 発行：新潮社他
「ああ無情」というタイトルのものもあります。主人公のジャンは姉の7人の子どものためにパンを1本盗んで捕まり、19年刑務所で過ごしました。銀の燭台のエピソードは有名なので聞いたことがあるかもしれませんね。

- 今回のおしらせ
- 冬の本紹介
- 大切な「読み」の力



【長い冬休み（上）（下）】

作：アーサー・ランサム 発行：岩波書店
冬休みに北極探検！おたふくかぜにかかったナンシの挿絵、顔は描かれていません。なぜかというと、ふくれた顔が気の毒で描けないのだそう！イギリスのお話なので、日本の文化と違うところが興味深いです。あちらは真冬になると湖が凍るので、スケートができるんですね。

今回は海外の古典名作を紹介してみました。海外文学には、クリスマスに関する名作がたくさんあります。他にも、『クリスマス・キャロル』や『賢者の贈り物』、『飛ぶ教室』、『クルミわりとネズミの王さま』、シャーロック・ホームズにも『クリスマスの依頼人』という本があります。海外と日本のクリスマスの違いを比べてみるのもおもしろいかもしれませんね。

きそ
学びの基礎は「読み 書き そろばん」と言われていますが…

大切な「読み」の力！



「読み 書き そろばん」ってなに？

「読み 書き そろばん」とは、昔から「学習の基礎・基本」と言われてきました。「読み」はもちろん文字や文を「読むこと」。「書き」は文字を「書くこと」、「そろばん」は計算することです。昔から、「学習にはこの3つが大事」と言われてきました。その中でも「読み」は全てのもととなります。



大事な「よみ」の力！

「読む」ということはただ文字や文を読むことだけでなく、「意味が分かる」ということでもあります。それだけでなく「ものごとを正しく理解する」「相手の伝えたいことがわかる」ということも「読み」の力がもたっています。

豊かな人間関係をつくるためにも、「読み」の力は大事なのです。



また、本を読むことでかんたんに別の世界をのぞくことができます。ページを開ければどこへでも行ける「どこでもドア」であり「タイムマシン」であり、他の人の心のをのぞける「窓」であり、それによって自分の心の中を知る「鏡」にもなります。「読み」の力ってすごいですね！！



「読み」の力をつけるには、「読む」しかない！

「読み」の力をつけるには、とにかく文字を読むこと！

本や新聞を毎日読めば、必ず「読み」の力がつきます。朝読の時間、業間、お昼休み、晩ごはんの前、寝る前など、ちょっとしたすきまの時間に、本を読むことに挑戦してみませんか。1日5回、5分ずつ読めば、1日で25分になります。これを毎日続ければ、1年で152時間になるんです！

これって、すごいことだと思いませんか？

「継続は力なり」。今日から、ちょっと時間があったら、読書をしてみましょう。1年後が楽しみです。

読書で「読み」の力をつけよう！

図書支援員
阪田の

編集後記

やっぱり、読書が苦手な人はいると思います。それは、「書いてあることの意味が分からない」からではないでしょうか？何が書いてあるのか、意味が分からないと楽しくないですもんね。ということは、「書いてあることの意味が分かる」ようになれば、読書がすごく楽しくなる、ということです。

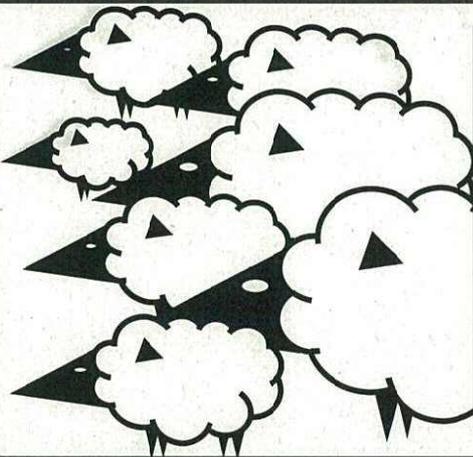
もし、あなたのまわりに読書の苦手な友だちがいれば、ぜひ『本を読もうよ！楽しいよ！』と、さそってみてください。そして、あなたのおすすめの本を教えてください。

たくさんの
本と出会えた
かな？



はるやす く まえ
春休みが来る前に…
もうすぐ春休みがやってきます。みなさん、この一年間で読んだだけの本を読みましたか？心に残る一冊はありましたか？
四月から新しい学年になります。学校では新学期にそなえて、図書室の本をきちんと整理・整頓し、気持ちよくスタートできるように準備をします。
もし、おうちや教室で、借りたまま返してない図書室の本があれば、必ず返してくださいね。

ヒツジ(未・羊)がテーマの本をしょうかいします。



平成27年は未年です。干支のヒツジは「未」と書きます。昔から日本には羊を飼う習慣がなかったため、羊に関する本は少ないです。一方、外国では羊とともに生活をする人たちがたくさんいるため、羊の本もたくさんあります。市立図書館にもいろいろな羊の本がありますので、借りてみてください。

【しいたがいのこひつじ】 分類：絵本

作：アールド・サドガード 発行：偕成社
ちょうちょに「どうして？どうして？」と質問ばかりする子羊。子羊は、ちょうちょにそばにいてほしいとお願いしますが、ちょうちょは…。最後は、思わずちょうちょを応援したくなります。

【こひつじクロ】 分類：933シ

作：Iザバス・ショー 発行：岩崎書店
真っ白い羊の群れで、一頭だけ真っ黒な子羊のクロ。自分だけ真っ黒なのはイヤだと思いますが、欠点に見えるようでも、実はそこがいいところかも？みんなにもそういうところがあるかも？

【ほくの羊をさがして】 分類：933バ

作：ヴァレリー・ハブス 発行：あすなろ書房
ジャックという犬が主人公のお話です。ジャックはボーダーコリーという種類で、羊を追いかける牧羊犬です。牧羊犬として働くことがとてもうれしかったジャックですが、ある日牧場が火事になってしまい…。「自分らしく生きる」とは何かを教えてくださいのお話です。

【忘れないよ リトル・ジョッシュ】 分類：933モ

作：マイケル・モパーゴ 発行：文研出版
イギリスの牧場に住むベッキーという女の子が書いた日記。ベッキーは羊のお産を手伝って、生まれてきた子羊にリトル・ジョッシュという名前をつけてかわいがりますが…。
ベッキーの気持ちを考えると、とてもつらいお話です。でも、最後まで読むと…？

名張市学校図書館だより 小学校版
平成二十七年春休み直前号
発行：教育センター

今回のおしらせ

- ヒツジの本紹介
- 図書館は無料で本を貸してくれるところ？



図書館は無料で本を貸してくれるところ？ 「本を読む」だけが図書館じゃない！

みなさんは「図書館の役目」が何か知っていますか？
たぶんほとんどの人が『無料で本を貸してくれるところ』と懸っているのではないのでしょうか。
たしかにそれも正解ですが、図書館は無料で本を借りられるだけではありません。

図書館は「知りたい」を助ける！

市立図書館や学校図書館が無料で使えるのは、図書館法という法律で決まっているからですが、無料で本を貸してくれることだけが図書館の役目ではありません。

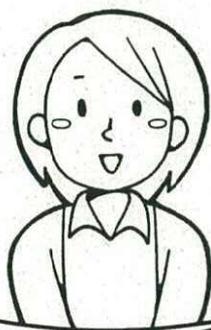
図書館には『レファレンスサービス』といって、調べもののお手伝いをするサービスがあります。たとえば、お米のことを知りたい時、授業の調べ学習なのか、自分で育てたいのかで知りたいことが違ってきます。つまり、みなさんの「知りたい」を助けるのが、図書館の役目であり、そのうちのひとつが無料で本を貸してくれる、ということなのです。

【図書館法第十七条：公立図書館は、入料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない】…とあります。つまり、公共の図書館を使うのにお金をとっちゃだめってことですね。



※東京や大阪などには、有料の図書館もあります。お店みたいなものですね。

図書館で待ってます♪



みなさんも、何か調べたいことや知りたいことがあれば、遠慮なく図書支援員（市立図書館ならカウンターにいる司書）に相談してくださいね。きっと方になれると思います。

図書館ではこんなこともしています！

名張市立図書館では、現在297,536冊の本があります。これらの本を自由に借りられるだけでなく（一部持出禁止あり）、次のような活動もしています。

- ・読み聞かせ
- ・ブックトーク
- ・手作り絵本をつくる講習会
- ・体の不自由な方に宅配サービス など

つまり、図書館は、乳幼児から高齢者まで、「すべての人たち」と「本」をつなぐ大切な役割も担っています。みなさんの学校の図書室でも、図書委員会を中心に、「読み聞かせ」や「かみしばい」など、いろんな活動に挑戦してみましよう！

図書支援員 藤由の

へんしゅうこうき 編集後記

今まで、わたしが、支援員としてみなさんから「教えて！」と尋ねられた中で、一番多かった質問は【おもしろい本はどれ？】です。でも、実はこの質問は、わたしが聞かれて一番悩むことなのです。なぜなら、「おもしろい」は人によって違うからです。だから「おもしろい本」を知りたい時には、『あなた』がふだん何をよんでいるのか、興味のあることは何か、趣味は何かなど、『あなた』のことを教えてください。『あなた』のことが分かれば、『あなた』に合った「おもしろい本」を見つけることができます。



春休みが来る前に…

もうすぐ春休みがやってきます。みなさん、この一年間でどれだけの本を読みましたか？心に残る一冊はありましたか？

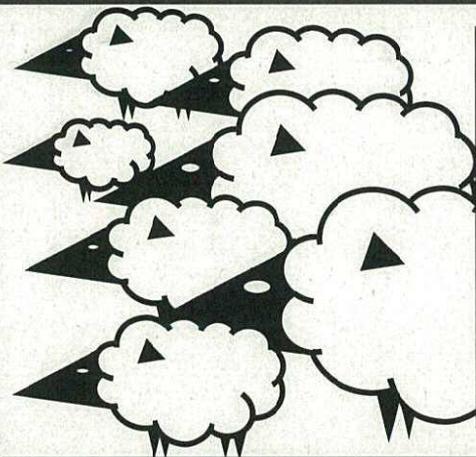
四月から新しい学年になります。学校では新学期にそなえて、図書室の本をきちんと整理・整頓し、気持ちよくスタートできるように準備をします。

もし、家庭や教室で、借りたまま返し忘れていた図書室の本があれば、必ず返してくださいね。

たくさんの本と出会えたかな？



ヒツジ(未・羊)がテーマの本を紹介します。



平成27年は未年です。干支のヒツジは「未」と書きます。日本には羊を飼う習慣がなかったので、羊に関する本は少ないです。一方、外国では羊とともに生活をする人たちがたくさんいるため、羊の本もたくさんあります。

市立図書館にもいろいろな羊の本がありますので、借りてみてください。

【アンドロイドは電気羊の夢を見るか？】分類：933テ

作：フィリップ・K・ディック 発行：早川書房

ゲームや漫画でよく見る『●●は▲▲の夢を見るか？』の元ネタはこれです。映画「ブレードランナー」の原作でもあります。第三次世界大戦が起きた後の世界。生物は貴重なものとして、昆虫一匹ですら厳重に管理されています。つまり、生きた動物を持っているかどうかステータスとなっている世界。人工の電気羊しか持っていない賞金稼ぎのリックは、火星から逃亡した多額の懸賞金をかけられているアンドロイドを捕まえようとしていますが…。SFの古典的名作です。

【ぼくの羊をさがして】分類：933バ

作：ヴァレリー・ハブス 発行：あすなろ書房

ジャックという犬が主人公のお話です。ジャックはボーダーコリーという種類で、羊を追いかける牧羊犬です。牧羊犬として働くことがとてもうれしかったジャックですが、ある日牧場が火事になってしまい…。「自分らしく生きる」とはどういうことか、を教えてくれるお話です。

【忘れないよ リトル・ジョッシュ】分類：933モ

作：マイケル・モーパード 発行：文研出版

イギリスの牧場に住むベッキーという女の子が書いた日記。ベッキーは羊のお産を手伝って、うまれてきた子羊にリトル・ジョッシュという名前をつけてかわいがりますが…。

ベッキーの気持ちを考えると、とてもつらいお話です。でも、最後まで読むと…？

今回のめしうせ

- ヒツジの本紹介
- 図書館は無料で本を貸してくれるところ？



図書館は 無料で本を貸してくれるところ？ 「本を読む」だけが図書館じゃない！

みなさんは「図書館の役目」が何か知っていますか？

たぶんほとんどの人が『無料で本を貸してくれるところ』と思っているのではないのでしょうか。確かにそれも正解ですが、図書館は無料で本を借りられるだけの場所ではありません。

図書館は「知りたい」を助ける！

市立図書館や学校図書館が無料で使えるのは、図書館法という法律で決まっているからです。無料で本を貸してくれることだけが図書館の役目ではありません。

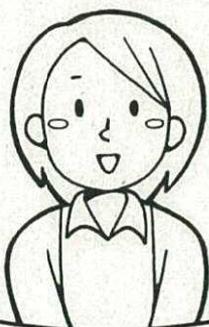
図書館には「**レファレンスサービス**」といって、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。例えば、チョコレートの本が読みたいとなると、レシピが知りたいのか、由来が知りたいのか、チョコレートが出てくる小説が読みたいのかで全然違いますね。つまり、みなさんの「**知りたい**」を助けるのが、**図書館の役目**であり、そのうちのひとつが無料で本を貸してくれる、ということなのです。

【図書館法第十七条：公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない】…とあります。つまり、公共の図書館を使うのにお金を取っちゃだめってことですね。



※東京や大阪などには、有料の図書館もあります。お店みたいなものですね。

図書館でまっています♪



貸出

みなさんも、何か調べたいことや知りたいことがあれば、遠慮なく図書支援員（市立図書館ならカウンターにいる司書）に相談してくださいね。きっと力になれると思います。

図書館ではこんなこともしています！

名張市立図書館では、現在 297,536 冊の本があります。これらの本を自由に借りられるだけでなく（一部持出禁止あり）、次のような活動もしています。

- ・読み聞かせ
- ・ブックトーク
- ・体の不自由な方に宅配サービス など

つまり、図書館は、乳幼児から高齢者まで、「すべての人たち」と「本」をつなぐ大切な役割も担っています。みなさんの学校の図書室でも、図書委員会を中心に「ブックトーク」や「読書フェスティバル」など、いろんな活動に挑戦してみましよう！

図書支援員 菰田の 編集後記

今まで、わたしが支援員として、みなさんから「教えて！」と尋ねられた中で、一番多かった質問は【おもしろい本はどれ？】です。でも、実はこの質問は、わたしが聞かれて一番悩むことなのです。なぜなら、「おもしろい」は人によって違うからです。だから「おもしろい本」を知りたい時には、『あなた』がふだん何を読んでいるのか、興味のあることは何か、趣味は何かなど、『あなた』のことを教えてください。『あなた』のことが分かれば、『あなた』に合った「おもしろい本」を見つけることができます。